



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社オキサイド
コード番号 6521 URL <https://www.opt-oxide.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長(COO & CFO) (氏名) 山本 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役(CSO)総合企画本部長 (氏名) 内田 誠二
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

上場取引所 東

TEL 0551 (26) 0022

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	5,721	21.9	△356	—	△474	—	△2,957	—
2024年2月期第3四半期	4,693	—	△678	—	△566	—	△488	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 △2,841百万円 (—%) 2024年2月期第3四半期 △310百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	△267.78	—
2024年2月期第3四半期	△48.84	—

- (注) 1. 2024年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
3. 2024年2月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	17,703	5,002	28.1
2024年2月期	19,251	7,610	39.5

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 4,980百万円 2024年2月期 7,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	25.6	0	—	50	—	△2,850	—	△258.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
業績予想の修正については、本日（2025年1月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社オキサイドパワークリスタル
(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	11,139,823株	2024年2月期	11,005,525株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	796株	2024年2月期	467株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	11,045,661株	2024年2月期3Q	9,995,046株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界経済は、インフレの沈静化や貿易の持ち直し等を背景に、底堅い成長を維持しました。一方で、中国経済停滞の長期化、ウクライナ情勢や中東情勢等地政学リスクの高まり、米中対立による半導体輸出管理規制強化等による先行きの不透明な状況が続いております。これに対し日本経済は、個人消費の増加やインバウンド需要の増加等により景気は緩やかな持ち直しが見られました。

このような状況の中、当社グループの第3四半期連結累計期間は、一部イスラエル紛争長期化の影響を受け、売上高は弱含みとなりました。製品の市場別では、半導体事業においては、出荷が計画通り進捗し、四半期の売上高としては過去最高、累計期間では予想に対しわずかに未達となりました。ヘルスケア事業においては、第3四半期では予想を下回りましたが、累計期間では予想を上回りました。新領域事業においては、当社単体では新規案件獲得により予想を上回りましたが、Raicol社単体の売上高は停滞し、第3四半期連結では予想を下回りました。また、2023年3月に買収いたしましたRaicol社について、イスラエル紛争の長期化により同社買収時点での事業計画と実績との間に乖離が生じたため、同社に係るのれん等の減損損失を特別損失として計上いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,721百万円（前年同期比21.9%増）、営業損失は356百万円（前年同期は678百万円の損失）、経常損失は474百万円（前年同期は566百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,957百万円（前年同期は488百万円の損失）となりました。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,548百万円減少し、17,703百万円となりました。これは主に、のれんが1,641百万円、顧客関連資産が1,140百万円減少した一方、仕掛品が702百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,059百万円増加し、12,700百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,400百万円増加した一方、長期借入金が246百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,607百万円減少し、5,002百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2,957百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、のれん等の減損損失の計上及び当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2024年4月15日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2025年1月14日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,631,297	2,262,322
受取手形及び売掛金	1,350,683	1,379,700
電子記録債権	11,853	36,399
商品及び製品	207,458	245,663
仕掛品	2,501,779	3,204,117
原材料及び貯蔵品	1,401,026	1,053,504
その他	455,007	338,066
流動資産合計	7,559,106	8,519,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,592,049	2,547,755
機械装置及び運搬具（純額）	3,909,362	3,685,937
その他（純額）	1,630,214	2,185,929
有形固定資産合計	8,131,626	8,419,622
無形固定資産		
のれん	1,641,346	—
顧客関連資産	1,140,346	—
その他	262,290	250,254
無形固定資産合計	3,043,983	250,254
投資その他の資産	516,994	513,833
固定資産合計	11,692,604	9,183,710
資産合計	19,251,711	17,703,485

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,690	371,231
短期借入金	1,500,000	2,900,000
1年内償還予定の社債	7,000	4,500
1年内返済予定の長期借入金	905,866	1,114,327
未払法人税等	32,844	32,965
賞与引当金	122,200	190,185
修繕引当金	68,880	118,874
製品保証引当金	108,734	108,886
その他	1,595,035	1,293,502
流動負債合計	4,602,253	6,134,471
固定負債		
社債	154,500	150,000
長期借入金	6,638,761	6,392,526
従業員株式報酬引当金	5,654	9,291
退職給付に係る負債	522	513
その他	239,593	14,176
固定負債合計	7,039,032	6,566,507
負債合計	11,641,285	12,700,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,177,014	3,282,802
資本剰余金	3,633,837	3,739,624
利益剰余金	652,271	△2,305,572
自己株式	△1,591	△1,591
株主資本合計	7,461,530	4,715,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	962	965
為替換算調整勘定	147,932	264,208
その他の包括利益累計額合計	148,895	265,174
新株予約権	—	22,068
純資産合計	7,610,426	5,002,506
負債純資産合計	19,251,711	17,703,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	4,693,716	5,721,640
売上原価	3,309,213	3,694,468
売上総利益	1,384,502	2,027,171
販売費及び一般管理費	2,063,087	2,383,489
営業損失(△)	△678,584	△356,317
営業外収益		
受取利息	7,103	587
補助金収入	300,960	2,323
助成金収入	1,721	81,822
その他	3,399	8,012
営業外収益合計	313,184	92,746
営業外費用		
支払利息	101,669	108,787
支払手数料	47,467	33,268
為替差損	44,478	55,682
その他	7,444	12,902
営業外費用合計	201,060	210,640
経常損失(△)	△566,461	△474,212
特別利益		
固定資産売却益	9,394	17,444
補助金収入	2,979	5,196
特別利益合計	12,374	22,640
特別損失		
固定資産売却損	—	13,228
固定資産圧縮損	2,737	5,009
減損損失	—	2,715,837
特別損失合計	2,737	2,734,074
税金等調整前四半期純損失(△)	△556,823	△3,185,647
法人税、住民税及び事業税	4,318	14,380
法人税等調整額	△72,943	△242,184
法人税等合計	△68,625	△227,803
四半期純損失(△)	△488,198	△2,957,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△488,198	△2,957,843

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
四半期純損失(△)	△488,198	△2,957,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	511	3
為替換算調整勘定	176,770	116,276
その他の包括利益合計	177,282	116,279
四半期包括利益	△310,916	△2,841,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△310,916	△2,841,564
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日 至2023年11月30日)
当社グループは、光学事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第3四半期連結累計期間(自2024年3月1日 至2024年11月30日)
当社グループは、光学事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
減価償却費	493,062千円	600,446千円
のれんの償却額	86,701	139,276
顧客関連資産償却額	39,101	62,811

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社オキサイドパワークリスタルを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

減損損失

前第3四半期連結累計期間(自2023年3月1日 至2023年11月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2024年3月1日 至2024年11月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
イスラエル	その他	のれん	1,578,470
	事業用資産	顧客関連資産	1,130,614
		仕掛研究開発資産	6,752

当社グループは、事業用資産については、事業区分をもとに概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位によってグルーピングを行っており、のれんについては、会社単位でグルーピングを行っております。

当社連結子会社であるRicol Crystals Ltd.の株式取得により生じたのれん等について、買収時に見込んだ事業計画を下回って推移しており、当初想定していた事業計画の達成が困難であると判断したことから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額2,715,837千円を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その算定にあたっては将来キャッシュ・フローを13.6%で割り引いて算定しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2023年3月1日に行われたRicol Crystals Ltd.との企業結合について前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額2,771,030千円は、会計処理の確定により1,094,728千円減少し、1,676,302千円となりました。のれんの減少は主に、顧客関連資産が1,133,984千円、仕掛研究開発資産が118,018千円及び繰延税金負債が208,608千円増加したことによるものであります。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ47,218千円増加し、親会社株主に帰属する四半期純損失は32,445千円増加しております。

(重要な後発事象)

(行使価額修正条項付第8回新株予約権の取得及び消却)

当社は、2025年1月14日開催の取締役会におきまして、2024年8月19日に発行いたしました行使価額修正条項付第8回新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）につきまして、残存する全ての本新株予約権を取得するとともに取得後直ちに本新株予約権を消却することを決議いたしました。

1. 新株予約権の取得及び消却の概要

①新株予約権の名称	株式会社オキサイド 第8回新株予約権
②取得及び消却する新株予約権の数(株式数)	21,038個 (2,103,800株)
③取得価額	総額22,068,862円 (新株予約権1個当たり1,049円)
④取得日及び消却日	2025年1月28日 (予定)
⑤消去後に残存する新株予約権の数	0個 (0株)

※「取得及び消却する新株予約権の数(株式数)」及び「取得価額」は現時点で確定しておらず、取得日となる2025年1月28日において残存する本新株予約権の全部が対象となります。記載の内容は2025年1月14日現在のものです。

2. 新株予約権の取得及び消却の理由

当社は、2024年8月2日付「第三者割当による行使価額修正条項付第8回新株予約権の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、大和証券株式会社を割当先とする第三者割当により、2024年8月19日に本新株予約権を発行しました。

本新株予約権の発行後、株価が下限行使価額を超えて推移する局面はありましたが、当社が想定していた調達ペースでの資金調達が行えておらず、2025年1月14日現在の行使数は、962個 (96,200株) に留まっております。

現在の当社株価水準及び市場環境等を総合的に勘案した結果、2025年1月14日開催の取締役会で本新株予約権の取得及び消却を決定いたしました。また、調達予定であった資金の残額につきましては、資金使途計画を見直すことで総額を圧縮し、公的補助金や開発受託の活用、自己資金の充当、銀行借入等の手段で賄うことといたしました。